



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



子どもたちのミュージカルに酔った日



9月4日(日)、瀬戸内市長船町の「ゆめトピア」で、「岡山糧の木少年少女合唱団オータムコンサート」に行ってきました。この団は、備前市・瀬戸内市の小中高生を中心に結成された劇団で、この日は、4曲の合唱と、ミュージカル「アナと雪の女王」を披露してくれました。

本校の生徒も在籍していますし、前任校の卒業生たちも多数在籍しています。今回縁あって初めて鑑賞することができました。

正直、感動…でした。「子どもたちでもここまでできるんだなあ」とひたすら感心です。その一生懸命な姿は、素直に感動を呼び起こします。



目的をもって、やる気を出して、辛いことやしんどいこともあるけど、とにかく続けること、ひたむきに頑張ること。その一つの結果が、今日のこの団員たちの姿であったように思います。

このように、いろいろな場所で頑張っている本校中学生も多いことと思います。今の頑張りをぜひ続けていき、結実させてほしい、と強く願います。

いやあ、良い物を見せてもらいました。心の底からのありがとうの言葉を贈ります。



ふと見ると、空はもう秋じゃありませんか！



6日、PTAパトロールに来られたお母さん方と、「日中は本当にまだイヤになるくらい暑いですねえ」という会話を交わしつつ、ふと空を見上げると、そこには見事な「うろこ雲」が…。つい先日までは、モクモクと入道雲がそびえていたのに、確実に時は流れ、秋はそこにきているのですね。間もなく、この時間は本当に空が燃えるような夕焼けになっていきます。

季節の流れを感じながら、また日々の活動を頑張っていこうと、うろこ雲に誓った秋山でした(ちょっと脚色)。



ここでもプロの技に感嘆する



2台ある耐火書庫の1台が古くなったため(今のままでと中のものも燃えると言われました、それじゃ耐火の意味がないですものね)。新しい書庫が設置されました。この中には生徒のみんなに関する重要な書類が保存されています。もし、20年後に「卒業証明書が必要」となったら、その時の伊里中学校の先生が、この金庫の中の書類を見て、卒業証明書を作ってく

れます。それほど大切なものです。

今回の設置の様子を見て、「やっぱりプロだなあ」とここでもほとほと感心しました。この重い金庫を、台車に乗せて狭い空間を上手にすり抜けて設置させます。そして細かい調整に入ります。全く知りませんでした。重量がある分危険を伴うため、安全に関してのいろいろな法的なきまりもあるそうです。勉強になりました。

工事や点検など、さまざまな業者の方とご一緒させていただくたびに新しい発見があり、勉強になっています。見渡してみれば、「我が周囲はプロだらけ」です。そして、「プロに学べ」ですね。

最近、「神スイング」だとか「神対応」「神ってる」などなど、「神様」も大安売りの傾向があり、さすがは「八百万(やおろず)の神々の国」と思っていました。が、「神様」とまではいかなくとも、「プロ」は本当にたくさん身の周りにいるものです。

伊里中学校に学ぶみんなは、将来何の「プロ」になるのでしょうかね、それもまた楽しみです。



先生たちの「随想」を始めます



学級通信に学年通信…それぞれの立場で通信を発行して下さっており、良い情報交換の場となっていると思います。しかし、読んでくださる方は、どうしても学級・学年の保護者に限定されます(当たり前ですけどね)。

そこで今回、せっかくのそれぞれの先生たちの思いを、学校全体の場で伝えてもらおうと、(強引に)、先生たちの随想コーナーを作ることにしましたっ！パチパチ。

少なくともお一人1回、時には熱く、時にはゆったりと、想いのたけを伝えてもらおうと思います(プレッシャー：苦笑)。

教育への情熱、生徒への思い、忘れられないあの出来事(あるいは人)、ぜひ知っていて欲しい知識、笑い話、思わずホロッとくる話、嬉し恥ずかしあんな話、こんな話 etc エトセトラ…さあ何が飛び出すでしょう。

分担は、その時の行事等を考え、ふさわしい先生にお願いするつもりですが、まあ適当です。

さて、次号の栄えある第一号は誰だ！？！？

ちなみに、タイトルは未定です。次回までに何とか考えます。

